

西之島の火山活動解説資料（平成 29 年 2 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

西之島では、火山活動の低下した状態が続いており、新たに形成された山体は、概ね安定した状態になり、噴火が発生する可能性はほとんどなくなったものと考えられます。このことから 14 日 18 時 00 分に噴火予報を発表し、火口周辺警報を解除しました。

火口周辺には高温部が残っているほか、海岸部では崩れやすくなっていますので、引き続き注意してください。

活動概況

海上保安庁、海上自衛隊等の海上や上空からの観測によると、2015 年 11 月 17 日を最後に、噴火は観測されていません。11 月下旬以降は、溶岩の流出もほぼ停止しているものとみられます。12 月以降は地表面温度の低下が確認されています。噴気及び火山ガスの放出は低調に経過しています。

東京大学地震研究所が 2016 年 10 月に島内に設置した地震計によると、島内浅部の地震活動は低調です。

干渉 SAR による解析では、火口周辺のゆっくりとした沈降が継続しており、2016 年後半の沈降は 2016 年前半と比較して緩やかでした。

これらのことから、西之島の新たに形成された山体は、概ね安定した状態になり、噴火が発生する可能性はほとんどなくなったものと考えられます。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。



図1 西之島 伊豆・小笠原諸島の活火山分布及び西之島の位置図

西之島は、東京の南方約 1,000km、父島から西に約 130km に位置します。



図2 西之島 第7火口付近
(2016年11月25日撮影 海上保安庁提供)

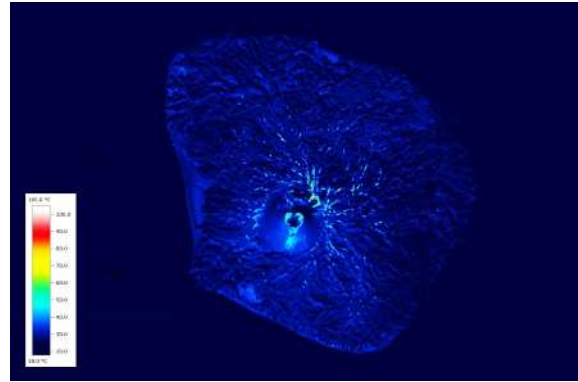


図3 西之島 熱画像
(2016年11月25日撮影 海上保安庁提供)

・2016年11月の観測では、火口及びその付近に噴気等の特異事象は視認されませんでした。



図4 西之島 変色水域
(2016年11月25日撮影 海上保安庁提供)



図5 西之島 撮影方向等
海底地形は噴火前のもので、現状とは異なります。

・2016年11月の観測では、西之島周辺に幅約 100～500m で薄い茶褐色の変色水域が分布していました。